

NETIS登録番号	技術名称	KCスタンドフォーム				
QS-110041-A	副題	高性能FRC製埋設型枠				
分類1	コンクリート工	コンクリート工	型枠工	埋設型枠工	キーワード: 環境、公共工事の品質確保、工期短縮	
分類2	砂防工	コンクリート工	型枠工			
開発目標	省力化、耐久性の向上、品質の向上					
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし					
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	インフラテック株式会社			TEL	050-3085-9434
	住所	鹿児島県鹿児島市与次郎2-7-25			E-MAIL	nakasu@infratec.co.jp
	担当者	中須 幹生				
実績件数 H26.7.31現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
	15件		30件		5件	

**技術概要:(300字以内)**

- ・本技術はFRC製埋設型枠であり、現場打ちコンクリートとの付着性能等が向上した為、砂防堰堤の埋設型枠、橋梁の落橋防止装置等の残存型枠に使用できる。
- ・材質は鉄筋を補強材としないFRC製品の為、6~10mmと薄肉で軽量という特徴がある。

**適用範囲**

- ①適用可能な範囲
- ・工種や構造物の大小を問わず、支持材の有無や間隔で対応可能。
- ②特に効果の高い適用範囲
- ・収縮目地を設ける為に、左右ブロックの同時成形が困難な砂防堰堤目地部分の埋設型枠。
  - ・経年により型枠の落下の恐れがある落橋防止装置の残存型枠。
  - ・狭隘な場所で支保工が組めない箇所の埋設(残存)型枠。(現道直近の標識基礎)
  - ・その他型枠の撤去による工期を短縮したい場合の埋設(残存)型枠。

**留意事項**

- ①設計時
- ・成形する構造物毎に支持材の有無や間隔の検討が必要。
  - ・砂防堰堤の目地材の埋設型枠に使用する場合、型枠撤去が不要で生コンを交互に打ち込む事で最低限の支持材で工事可能。
  - ・落橋防止や標識基礎では、埋設型枠は構造断面内に含まない。
  - ・水路に使用する場合の流速は3.0m/s以下を目安とする。
- ②施工時
- ・KCスタンドフォームの不織布側をコンクリート打設面にする。
  - ・KCスタンドフォームは内部の連続長繊維によって補強されている。よって、長繊維の直行方向と水平方向で強度が異なるので、使用時は注意する。(刷り込みで確認する)
- ③その他
- ・保管時に製品が反らないように、パレット等で水平に保管する。
  - ・取扱い時に大きな衝撃を与えない。
  - ・水中にて型枠として使用する場合はご相談下さい。



①KCスタンドフォーム組立



②サポート筋で型枠の固定



③目地材を予め型枠に固定しておく



④コンクリート打ち込み



⑤型枠を挟んで生コンを打設し圧力を相殺



⑥所定高さまで打ち上げる



狭隘な箇所の大型標識施工状況

砂防堰堤目地部型枠組立フロー